

上海華加國際貨運代理有限公司 (MLG-CN)
Shanghai Huajia Int'l Freight Forwarding Co., Ltd.

2012年9月17日現在

天津	今週から日本と輸出&輸入に関して税関検査率を上がるとの情報を入手、弊社が使っている海上業者から今週日本向けのLCL貨物に関して、毎Shptを検査するとの話もあるようです。
北京	現在表上はなんの通知も出ておりませんが、船便、航空便の輸出入ともに厳しい検査、審査の遅れが全般的に出始めてきました。
大連	特に無し
青島	特に無し
上海 (航空)	上海海上と同様にPVG空港、WGQ保税区でも検査が厳しくなるとの情報あるが、特に問題になるような案件は発生していない。
上海 (海上)	上海地区では、日本発着の貨物に対する税関検査の強化、特に保税区からの日系貨物における検査率は相当なものになるとの事です。 また、内陸(武漢等)における検査時は更に厳しい対処を求められているケースが散見されるとの情報もございます。 並行して、今年より中国全土で、『国門の盾』という政策により税関取締りが強化されていましたが、昨日、外高橋港での検査率が目標に到達していないという理由から、更に検査率を上げるとの税関内部規定が設けられたとの情報も入りました。 こちらは、朝一から15時までの検査率を8%、15時以降を30%とするといった明確な情報となっております。
重慶	特に無し
武漢	検査に当たった輸入貨物の処理が通常より長い時間かかっている。
深圳	輸出 当社取り扱いにおいては特に問題となるような事案は発生しておらず、お客様、通関業者等の情報でもそういったケースは今のところ発生していない模様。 輸入 日本に関連する輸入貨物においては、特に申告単価に関して、全般的に厳格化されている印象あり。検査率は、以前よりも数パーセントは上がっているようだが、これは、現在実施されている当局のキャンペーン「国門の盾」による検査厳格化の影響もある。 2010年時の尖閣諸島問題のときに比べれば、現時点ではそこまで深刻な状況にはなっていない。
広州	広州店顧客では特に問題となるような事案は発生しておらず、代理店シフトランスによれば、広州では検査率もさほど上がっていないとのこと。一部顧客で検査の確率があがっているという情報あるも、上記「国門の盾」の影響もあり、今回の国有化がどこまで影響しているかは不明。 【国門の盾】 現在、中国税関総署からの指示で、中国各地の税関は相次いで「国門の盾」というキャンペーンを展開している。主要な目的は税関検査により違法貨物の摘発することが目的で中国の主要港において全体的に税関検査率が上昇している傾向となっている。(実施期間: 2012年1月-2012年12月)